

週 報



2026-2027 年度 RI 会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」

地区ガバナーメッセージ

「Happy Rotary みんなのために」

東京本郷ロータリークラブテーマ 皆が主役の 誇れるクラブづくりに 皆で取り組もう

会長：市河久和 副会長：米倉伸三 会長エレクト：本郷 滋 幹事：澤部利藏 会報リーダー：岩白啓佑

創立／平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

例 会：水曜日・月3回 (内オンライン1回有) 12 時 30 分

例会場：ホテルメトロポリタンエドモント 電話：03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

事務局:E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp



ホームページ



Facebook



INTOKYO_HONGO_ROTARY_CLUB

「例会を録画したデータが事務局にあります」

第 1579 回例会

本日の例会 (7月15日)

「第1回 クラブフォーラム」

テーマ：友好クラブについて

衛星クラブとアクトクラブについて

お福分け会について

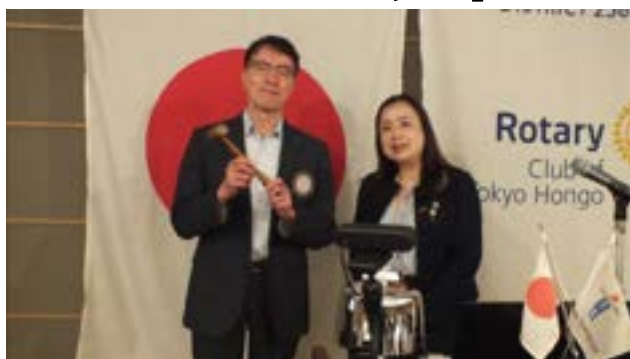
次回の卓話 (7月22日)

オンライン例会
「憲法って何なの？」

杉山和也 会員

7月1日第1578回例会報告

「ハンマータッチ」



市河新会長の船出です

出 席

出席率算出会員数：38名 出席数：28名

欠席数：10名 出席免除者数：0名

出席率：73.68%

クラブゲスト 山本佳子様 (田上会員ゲスト)

米山奨学生 フェンさん

理事会報告

*報告

1. 今期予定しているお福分け会の開催候補場所：「文京学院大学」開催候補日：第1回 9月27日14時、第2回2月28日14時予定

*議案

1. 一般会計からクラブ基金の借入枠設定承認の可否
内規7-第5条に従い例会承認を得ることを前提に一定の借入枠 (300万円を上限) が承認された。
2. クラブHP管理会社変更について承認の可否
これまでの会社を継続せず新規提案にて契約 (株式会社ワンダー) することが承認された。

*議題

1. 第1回クラブフォーラムについて
テーマ：「友好クラブ」「衛星クラブ・ロータアクトクラブの周知」「お福分け会」を中心とすることが決まった。

※一部抜粋

会長報告

1. 2026-2027 年度 地区へ出向される方へ谷ー
ガバナーより委嘱状が届きましたのでお渡しし
ます。

- ・地区 RYLA 委員会 委員 澤部利藏会員
- ・地区資金推進委員会 委員長 飯塚貞子会員
- ・地区資金推進委員会 委員 小林健太郎会員
- ・地区ローター平和フェロシップ委員会 委員 星山涼駿会員
- ・地区 RLI 委員会 委員 田上睦深会員

以上 5 名の皆様となります。



2. 本年度は月 2 回の対面例会と 1 回のオンライ
ン例会を予定しております。

今月は 7 月 22 日がオンライン例会です。

幹事報告

1. 来週 7 月 8 日は、休会です。

15 日例会は、田中ガバナー補佐、加藤グルー
プ幹事が来会されます。

また、2025-2026 年度 アテンダンス表彰発表
をいたしますことをお知らせいたします。

「クラブ基金運用に関する件」

第 1 回定例理事会において、運営費の不足分を補
うため、クラブ基金を一時的に活用するため 300 万
円を上限として取り崩し年度末に基金へ戻すこと
が承認されました。

支出する際は、長久保会計、幹事澤部による確認・
押印をもって一般会計へ移します。

つきましては、当クラブの内規第 7 号「クラブ基金
運用に関する内規 第 5 条 基金の支出」にある
通り、例会承認を諮りました。

2026 年 7 月 1 日 第 1578 回例会において、運営費
として 300 万円を上限にクラブ基金取り崩しする
ことが例会承認されました。

ニコニコBOX

*市河久和会員

新年度が始まりました。1 年間会長を務めさ
ていただきます。宜しくお願いいたします。

*澤部利藏会員

飯塚直前会長、田上直前幹事、昨年度大変お疲れ
様でした。市河会長一年間よろしくお願いいたし
ます。

*古関伸一会員

市河会長、澤部幹事よろしくお願いいたします。
前飯塚会長、田上幹事、有難うございました。

*山路敏之会員

飯塚パスト会長、田上パスト幹事、一年間大変お
疲れ様でした。素晴らしい一年間でした。
市河会長、澤部幹事、一年間スマイルでよろしく
お願いします。

*飯塚貞子会員

皆様一年間クラブ運営へのご尽力ありがとうございます。
わたしからの事業報告をもって皆様へ
の感謝をお伝えさせていただきます。

*米倉伸三会員

市河年度いよいよスタートです。皆様よろしくお
願いします。

*平野 治会員

飯塚会長、田上幹事一年間ありがとうございます。
た。

*服部浩美会員

市河会長、澤部幹事を初め新年度開始しました。
皆さん今年度もよろしくお願いします。

*田上睦深会員

山本さん、今日はようこそ本郷ロータリークラブ
へ、白山にお住まいの税理士さんということでお
近くですので又遊びにいらして下さいね。

*三浦謙吾会員

お誕生日のお祝い、ありがとうございました。

ニコニコBOX 33,000 円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY



米山奨学生 フェンさんへ奨学金をお渡ししました

「6月29日（月）地区納めの会」

同時に認可された東京上野コネクト RSC とともに
に認証状を中川ガバナーより拝受いたしました。



ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

6月30日 滝川会員・岡本会員 歓迎会・屋形船



滝川会員・岡本会員
ようこそ本郷ロータリークラブへ！



飯塚会長・田上幹事
お疲れ様でした！



「新旧 会長挨拶」



飯塚 直前会長

皆様、改めまして昨年度は、田上幹事とともに大変お世話になり、心より御礼申し上げます。本日よりパスト会長という立場になり、何が求められるのだろうかと考えながら、この場に立たせていただいております。

私は 2016 年 11 月に清水卓治会員、長久保スミ子会員のご推薦により入会いたしました。当時は女性会員も少なく、千葉県のロータリアンから「55 名もいて素晴らしいクラブですね」と言われましたが、その凄さを当時は理

解していませんでした。それから年月が経ち、昨年度は会長として、山路実行委員長はじめ会員の皆様と共に素晴らしい 35 周年を迎えることができました。

本日はまず、推薦者についてお話しします。ロータリークラブは、推薦者が「入会にふさわしい方だ」と責任を持って太鼓判を押さなければ入会できないシステムです。推薦をすることは、自身の培ってきた人脈や生き様、仕事のすべてをかけて推薦する「覚悟」が必要です。そのため、入会から 3 年ほどは新入会員と推薦者が一体となって活動し、不安を解消しながら共に楽しむことが最も大切です。パスト会長となった今、私は推薦者と入会 3 年未満の会員がコミュニケーションを取れる場をクラブ内に作っていきたくと考えています。

また、当クラブの誇りはチャーターメンバーの存在です。発足当時 88 名だった当クラブには、35 年経った今も 10 名ものチャーターメンバーがいっぱいいます。点鐘や受付、ニコニコ箱の仕組みなど、何もないゼロの状態から 35 年をかけてすべてを作り上げてこられた方々の知見と人間力は本当に素晴らしく、改めて誇りに感じています。

ここで、入会歴の浅い皆様へお伝えしたいことがあります。それは「ぜひ会長を目指していただきたい」ということです。かつては会長になるまでに 27、28 年という歳月がかかっていましたが、今は私のように 10 年ちょっとで大役を経験できます。

そして、会長を目指すために、まずは「幹事」を経験してください。私が皆様から「楽しかった」と言っていたのは、田上幹事の下支えがあったからです。幹事は会長以上に大変ですが、幹事という立場を知ってから会長になった方がより楽しめます。できれば幹事は 2 回経験することをお勧めします。1 年目は何も分からず戸惑うばかりですが、2 回目を経験することで、クラブフォーラムとクラブ協議会の違いや段取りの進め方が深く理解できるようになります。今年度 2 回目の幹事を務められる澤部さんは本当に素晴らしく、市河新会長は大変お幸せだと思います。幹事の仕事が大変なときには推薦者が力になってくれますし、最後の最後にはチャーターメンバーが頼りになります。

最後に、これからの 1 年間、クラブだけでなく「地区」という活動の場があることもお伝えしていきます。本日はあえてバッジをつけてまいりましたが、ロータリアンには寄付という義務もあります。今年度、私は地区の資金推進委員長を拝命しております。当クラブでは現在 3 名が、毎年 1,000 ドルを寄付する「ポール・ハリス・ソサエティ」に登録していますが、まずは宣言をすることが大切です。「ポリオ・プラス・ソサエティ」も含め、永続的な寄付という義務についても、これから会長を目指す皆様にぜひ考えていただければ嬉しいです。

皆様、一年間、本当にありがとうございました。

皆さん、こんにちは。本日より一年間、会長を務めさせていただきます市河です。改めましてよろしくお願いいたします。

私の最初の入会は2012年で、ロータリー歴は13年になります。入会の動機は、先輩に誘われて外国での奉仕活動に参加したことです。社会的立場のある方々が資金を出し合い、社会貢献に尽くす姿に大きなポテンシャルを感じました。

入会当初は「超私の奉仕とは何か」など、先輩方に質問ばかりしていましたが、満足な回答は得られず、ある方からは「ロータリーとはステータスだ」と言い切られたことも覚えています。しかし、地区補助金を獲得しての奉仕活動や、複数の地区委員会、ロータリーバギオ基金の評議員などを経験したり、大先輩方との勉強会を通じて濃いロータリーライフを送る中で、私のロータリー観は大きく変わってまいりました。

100年以上続くロータリーの礎は、「目的への賛同」「義務の遵守」「『4つのテスト』の自身の倫理規範化」という3点に集約されると考えています。この最低ラインが守られているならば、動機が単なるステータスであっても、私は「何でもあり」で良いと考えています。

今年度の年間テーマは「皆が主役の 誇れるクラブづくりに 皆で取り組もう」といたしました。「倶楽部」とは、ともに（俱に）楽しむ部屋と書きます。先輩から言われた「観客よりもプレイヤーになった方が何倍も楽しい」という言葉の通り、皆さんもプレイヤーとして主役になり、このクラブをともに楽しんでまいりましょう。

さて、本日の卓話として、最近の心理学講座から思い出した本『平気で嘘をつく人たち』（M・スコット・ペック著、1983年刊）についてお話します。

この本の核心は「自己保身のための邪悪さ」です。日常に潜む邪悪な人間の心理を精神医学的に解明しようとしたもので、要点は3つあります。1点目は「自分自身に嘘をつき続けること」。自分の欠点や不完全さを認められず、自分が絶対正しいと思い込むための嘘です。2点目は「他者を攻撃し、犠牲にすること」。自己のセルフイメージを守るため他人に責任転嫁し、スケープゴートを容赦なく攻撃します。3点目は「善人の仮面をかぶること」で、社会的地位や見かけの維持に異常に執着します。

当時はこの「邪悪」という概念を精神医学に持ち込むことはタブー視されていましたが、現在の脳科学や心理学では、これは「自己愛性パーソナリティ障害（NPD）」という病理的障害や、「ダークトライアド（ナルシスト・マキャヴェリズム・サイコパシー）」という悪のパーソナリティ特性として科学的に再定義されています。

これを知って思い当たるのが、かの大国の大統領です。当選以降、彼の言動はこの本の生きた実例だと指摘され、本書が再び脚光を浴びたようです。彼の言動はロータリーの「4つのテスト」にすべて反しています。このような人が大国のトップに立ち、最悪なケースとして戦争により命が奪われている現状は本当に憂慮すべきことです。

ロータリーは組織としては政治や宗教に中立ですが、実は2019年に採択されて以来世界的に大いに宣揚してきたDEI（多様性・公平さ・包摂）の文言が、ロータリー章典の会員行動規範から削除されてしまいました。特に「多様性」は大統領の考えにそぐわないため、護身のためではないかと言う方もおります。

私はそんなことはないと思いたいですが、入会時に感じたあのポテンシャルは、今後活かされることはあるのか、これから見極めていきたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

